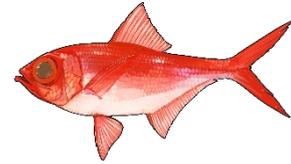


普及業績

神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員(魚類担当) 和田英敏

2025年4月23日更新

展示 6 件, 普及的著作 19 件, 講師活動 14 件



【展示】

6. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2024 年度特別展「生命の星・地球博物館の 30 年 -120 万点から厳選した資料で振り返る-」. 展示. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2024 年 7 月 13 日-11 月 4 日.
5. 東京大学総合研究博物館. 2023 年ホームカミングデー企画・標本から過去を知るハンズオンギャラリー, 絶滅した魚類の標本から当時の環境を知る. 企画・展示・解説. 東京大学総合研究博物館 (東京都文京区), 2023 年 10 月 21 日.
4. 東京大学総合研究博物館. 特別展示『魚學コトハジメ』. 企画・展示・解説. JP タワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク (東京都千代田区), 2023 年 9 月 26 日-2024 年 2 月 18 日.
3. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2022 年度ミニ企画展示「田中 猛氏により寄贈された現生サメ類の顎骨標本コレクション」. 企画・展示・解説. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2022 年 7 月 1 日-8 月 3 日.
2. 鹿児島大学総合研究博物館. 薩摩半島の魚類 in 鹿児島大学. 実行委員. 鹿児島大学郡元キャンパス (鹿児島市), 2019 年 8 月 27 日-9 月 13 日.
1. 鹿児島大学総合研究博物館. 鹿児島大学総合研究博物館 第 18 回 特別展, 笠沙の魚たち. 実行委員. 笠沙恵比寿 (南さつま市), 2018 年 7 月 1 日-8 月 31 日.

【普及的著作】

書籍

13. 和田英敏, 2024. クロサギ科・キス科の解説. 樋之口蓉子・田島奏一朗・是枝伶旺・本村浩之編, 改訂版: 錦江湾奥 干潟の生き物図鑑, pp. 40, 42. 特定非営利活動法人くすの木自然館, 始良.
12. 和田英敏, 2024. フデエソ科, オニアオメエソ科, クロアンコウ科, シロカサゴ科, ヒメキジチ科, キチジ科, イモリザメ, オキナワヤジリザメ, ハゲイワシ, フデエソ, オニアオメエソ, パラオイトヒキダラ, クロダラ, ペリカンアンコウモドキ, ホムラカサゴ, クロカサゴ, ヤセアカカサゴ, アズキカサゴ, シロカサゴ, アラスカキチジ, キチジ, ヒゲキホウボ

- ウダマシ, イソキホウボウ, チュラシマハナダイ, リュウグウノヒメ, トウヨウカマスの解説. 岡本 誠・本村浩之の編, 日本の深海魚図鑑, pp. 15, 21, 41, 49, 53, 70, 86, 101, 102, 106, 107, 124, 129, 160. 山と溪谷社, 東京.
11. 和田英敏・小枝圭太・上島 励, 2024. 標本資料報告第 132 号 東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト (3) . 東京大学総合研究博物館, 東京. v + 327 pp.
 10. 和田英敏. 2023. シラウオ科・アユ科・シロカサゴ科・アカゴチ科・セミホウボウ科・キホウボウ科・ハリゴチ科・コチ科・ハナダイ科チュラシマハナダイ・アマダイ科・キツネアマダイ科・ムツ科・コバンザメ科・スギ科・シイラ科・ギンカガミ科・クロサギ科・ゴンベ科キリンゴンベ・イスズミ科・カゴカキダイ科・メジナ科・イボダイ科・マナガツオ科の解説. Pp. 93, 132, 136, 137, 147, 152–154, 163, 183, 194, 195. 本村浩之 (監修). 学研の図鑑 LIVE 魚 新版. Gakken, 東京.
 9. 和田英敏. 2023. クロサギ科・キス科の解説. Pp. 37, 39. 樋之口蓉子・田島奏一郎・是枝伶旺・本村浩之 (編). 錦江湾奥 干潟の生き物図鑑. 特定非営利活動法人くすの木自然館, 始良市.
 8. 和田英敏. 2022. アカエイ科・トビエイ科・イトマキエイ科・イットウダイ科・サヨリ科・トビウオ科・シロカサゴ科・クサウオ科・キントキダイ科・クロサギ科・カワハギ科の解説. Pp.18–21, 47–48, 62–67, 81, 88, 105, 138–139, 299–302. 岩坪洸樹・伊東正英・山田守彦・本村浩之 (編). 薩摩半島沿岸の魚類. 鹿児島水圏生物博物館, 枕崎市・鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市.
 7. Wada, H. 2021. *Gobiodon quinquestrigatus*, *Istigobius decoratus*, *I. goldmanni*, *I. nigroocellatus*, *I. ornatus*, *Macrodontogobius wilburi*, *Pleurosicya labiata*, *Priolepis nuchifasciata* (Gobiidae). Pp. 71–74. In: Motomura, H., S. Kimura, Y. G. Seah, S. T. Sheikh Abdul Kadir, and M. A. Ghaffar (eds). Reef and shore fishes of Bidong Island, off east coast of Malay Peninsula. The Kagoshima University Museum, Kagoshima.
 6. Wada, H. 2020. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan (Second Edition). National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.
 5. 和田英敏. 2020. シラウオ・ミナミメダカ・マゴチ・セダカダイミョウサギ・シロウオの解説. Pp. 61, 66, 69, 75, 104. 本村浩之・山本智子・田金秀一郎 (編). 鹿児島県北西部 不知火海にそそぐ 高尾野川河口周辺の生きものたち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
 4. Wada, H. 2019. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan. National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.

3. 和田英敏. 2019. ノコギリザメ科・アカナマダカ科・リュウグウノツカイ科・ゴクラクギョ科の解説. Pp. 18, 38, 400. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典 (編). 奄美群島の魚類. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
2. 和田英敏. 2017. くちのえらぶコラム その魚にご用心! 危険な魚ってなんだろう? Pp. 67-69. 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯 健・小枝圭太 (編). 緑の火山島一口永良部島の魚類, 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
1. Koeda, K., Hibino, Y., Yoshida, T., Kimura Y., Miki, R., Kunishima, T., Sasaki, D., Furukawa, T., Sakurai, M, Eguchi, K., Suzuki, H., Inaba, T., Uejo, T., Tanaka, S., Fujisawa, M., Wada, H. and Uchiyama, T. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. The Kagoshima University Museum, Kagoshima. vi + 120 pp.

その他・教育普及的執筆

6. 和田英敏, 2025. “古標本”で遡る100年前の相模湾産魚類相. 自然科学のとびら, 31(1): 2-3.
5. 和田英敏. 2024. 『魚学コトハジメ』の展示資料について. Ouroboros, 東京大学総合研究博物館ニュース, 28 (2): 2-4.
4. 和田英敏. 2023. 日本の海産魚類相は100年前から現在までにどう変わった? - 東京大学の魚類古標本コレクションから見えるもの -. Ouroboros, 東京大学総合研究博物館ニュース, 28 (1): 5-8.
3. 和田英敏. 2021. 総合研究博物館での研究を振り返って. 鹿児島大学総合研究博物館ニューズレター, 47: 9-11.
2. 和田英敏. 2019. 有毒魚類ツムギハゼに注意. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34 (1): 11, 13.
1. 和田英敏. 2019. 【第52回会員研究発表会】研究発表の部 熊本県天草市近海から得られた熊本県初記録を含む魚類. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34 (1): 3-4.

【講師活動】

14. 神奈川県立生命の星・地球博物館・友の会. 第142回サロン・ド・小田原「“古標本”により甦る100年前の相模湾の魚類相」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2025年1月11日.
13. 観音崎自然博物館. カムズ! 海淡フォーラム「録音厳禁! 禁断のバラエティ」. ゲスト. 観音崎自然博物館 (横須賀市), 2024年11月16日.
12. NPO 法人暮らし・つながる森里川海. 平塚新港「海のお魚調べ (岸壁採集)」. 講師. ひらつかタマ三郎漁港 (平塚市), 2025年10月12日.

11. 株式会社釣りビジョン. 熱愛!サカナ図鑑「カサゴ編」. 講師 (番組収録). フジ・エスティート新宿第一ビル 7F (新宿区), 2024 年 8 月 28 日.
10. 北里大学海洋生命科学部. 博物館学「情報・メディア論」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2024 年 7 月 27 日.
9. 日本さかな専門学校. 標本と解剖に関する講義「自然史博物館の概要と役割」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2024 年 6 月 21 日.
8. 日本さかな専門学校. 標本と解剖に関する講義「自然史博物館の概要と役割」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2024 年 6 月 18 日.
7. 日本魚類学会・若手の会. Web 市民シンポジウム サカナ×??? “魚類学”の多彩なアプローチ「どう見分ける? どう位置付ける? 分類学〜シロカサゴ科からわかったこと〜」. 講師. オンライン (Zoom), 2024 年 6 月 15 日.
6. 東京大学総合研究博物館. 魚學コトハジメ 特別講演会「岸上鎌吉と魚学」. 講師. JP タワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク (千代田区), 2023 年 12 月 1 日.
5. 神奈川県立生命の星・地球博物館・魚の会. 令和 5 年度第 1 回講演会「謎多き“汎世界分布種”ーシロカサゴから読み解くグローバルコンベアーベルトによる輸送システムー」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2023 年 5 月 21 日.
4. 東京大学総合研究博物館. ソトラボ第 7 回 魚類トーク「“古標本”が語る 100 年前の日本の魚類相」. 講師. 東京大学総合研究博物館」. 講師. 東京大学総合研究博物館・小石川分館 (文京区), 2023 年 3 月 27 日.
3. かがしま環境未来館. かがしま環境未来館・鹿児島水圏生物博物館合同市民講座「チリメン生物図鑑」. 副講師. かがしま環境未来館 (鹿児島市), 2020 年 8 月 9 日.
2. 鹿児島市平川動物公園. 五位野川生き物観察会. 採集された生物の解説. 鹿児島市平川動物公園 (鹿児島市), 2019 年 8 月 5 日.
1. 宮崎県自然保護推進委員会. 自然保護推進員大会 活動報告「準絶滅危惧種セダカダイミョウサギの調査観察 ー付録: 近年宮崎で確認された魚たち-」. 講師. 宮崎県庁 (宮崎市), 2017 年 10 月 14 日.